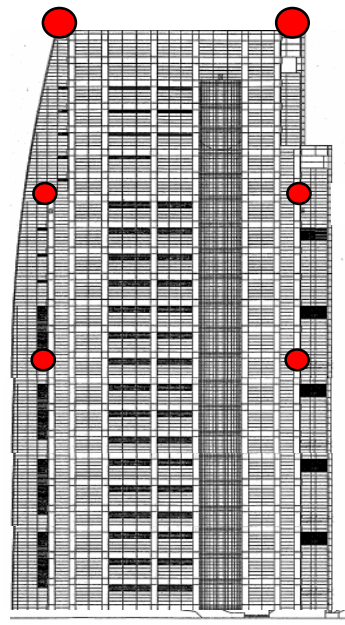


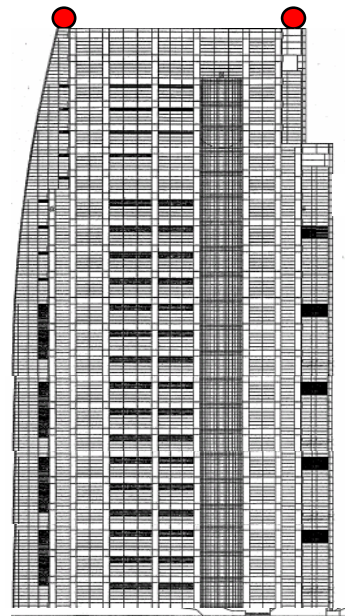
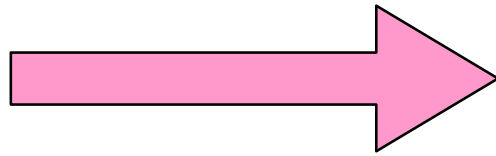
基準緩和実施のための措置(例)



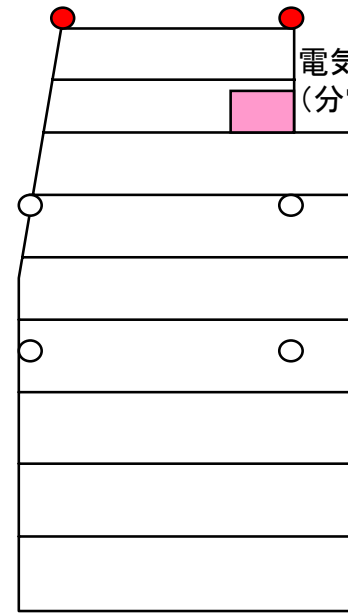
基準緩和実施前

- 凡例
- 中光度赤色航空障害灯
 - 低光度航空障害灯

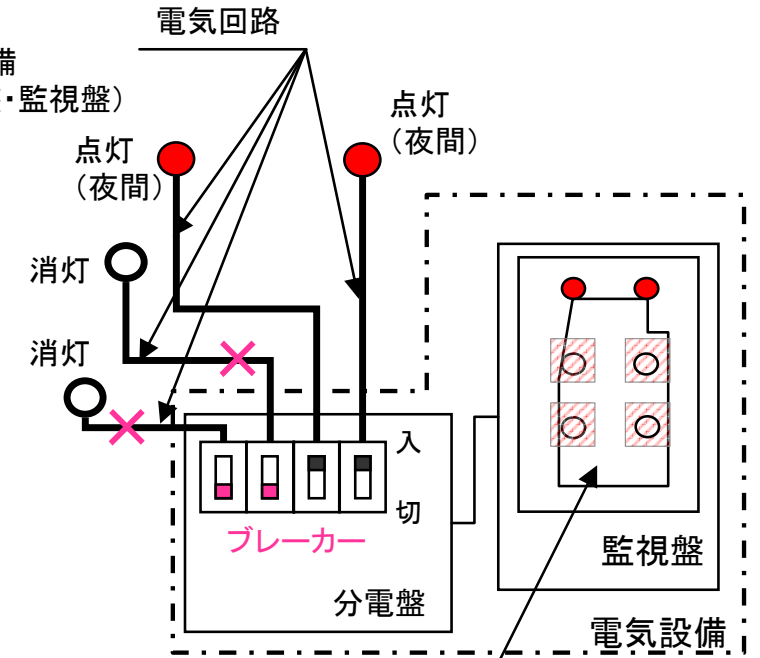
(※高さ145mのビル)



基準緩和実施後



基準緩和実施のための作業



必要に応じて改修

変更内容

航空障害灯の設置位置	航空障害灯の種類		基準緩和実施のための作業
	基準緩和実施前	基準緩和実施後	
上から1段目	中光度赤色航空障害灯	低光度航空障害灯	航空障害灯の低光度化 (中光度→低光度)
2段目	低光度航空障害灯	—	航空障害灯の消灯
3段目	低光度航空障害灯	—	

- ・航空障害灯の交換
- ・ブレーカーの交換、小容量化
(障害灯に流れる電流が少なくなるため、小容量のものに交換)

- 消灯するが撤去しない場合
- ・航空障害灯用のブレーカーを「切」にする。
- ・航空障害灯を電気回路から切り離す。
- ・監視盤の改修を行う。(※)
- 撤去する場合
- ・航空障害灯を撤去し、この撤去によって生じる開口部の充填作業を行う。
- ・不要な電気回路を撤去する。
- ・監視盤の改修を行う。(※)

(※)監視盤の改修:航空障害灯の消灯措置によりアラームが鳴らないようにするもの。
(ビルの電気設備には、監視盤が設置されていない場合もある。)